

問題 1 , 下記の設問に解答せよ(単位と有効桁数に注意せよ)。ただし, 不要な条件も含まれている。

- a. 長さ 50 cm の D22 鉄筋鋼棒を 200kN で引張ったときの応力はいくつか。ヤング係数  $E_s$  については, 標準示方書の値を用いること。
- b. 長さ 1m の鉄筋鋼棒(SD345, D35)を 1.0mm 変形(伸び)させたときのひずみと応力をもとめよ。また, この鉄筋は降伏しているか。
- c. 径が D19, 長さが 50cm の鉄筋鋼棒を 50kN で引張ったときの変形量(伸び量)が 0.40mm であった。この時のヤング係数はいくつか。
- d. SD345, D22 の異形鉄筋を降伏させるための引張荷重とその時のひずみ(降伏ひずみ)はいくつか。
- e. 長さが 100cm および 200cm の 2 つの鉄筋(D19, SD295)に引張荷重を与え, 伸び量を  $\epsilon = 0.5\text{mm}$  とするための引張荷重とそのとき発生する応力を計算, 比較せよ。
- f. 断面が 20cm × 20cm, 長さ 100cm の無筋コンクリート柱に, 500kN の圧縮力が作用したときの軸応力と変形量(縮み量)を求めよ。コンクリートのヤング係数を  $30\text{kN/mm}^2$ , 圧縮強度を  $28\text{kN/mm}^2$  とする。
- g. 直径が 15cm, 高さ 30cm の円柱供試体の圧縮試験を行ったところ, 最大荷重 350kN で破壊した。このときの圧縮強度を求めよ。
- h. 断面が 20cm × 20cm, 40cm × 40cm の 2 つのコンクリート柱について, 圧縮応力が  $\sigma_c = 10\text{N/mm}^2$  とするための圧縮荷重とそのときのひずみを求め, 比較せよ。ただし, 弾性係数は  $20\text{kN/mm}^2$  とする。

ヒント: 全体量(荷重  $P$  と変形  $\Delta$ )および単位量(応力  $\sigma$  とひずみ  $\epsilon$ )の定義と違いおよび単位を確認せよ。\*  
\*を参照して, これら 4 量の関係を整理せよ。

解答

a. 
$$= \frac{P}{A} = \frac{200000}{387.1} = 517 \text{ N/mm}^2 \quad (\text{長さ } 50\text{cm は不要となる})$$

b. ひずみ : 
$$= \frac{1.0\text{mm}}{1000\text{mm}} = 1000 \times 10^{-6} = 1.0 \times 10^{-3}$$

応力 : 
$$= E_s \times = 200\text{kN/mm}^2 \times 1000 \times 10^{-6} = (2 \times 10^5) \times (1000 \times 10^{-6}) \text{ N/mm}^2$$
  
$$= 200 \text{ N/mm}^2$$

降伏ひずみ : 
$$y = f_y / E_s = 345 / 200000 = 1725 \times 10^{-6}$$

<  $y$  よって降伏していない。

(鉄筋径 D35 は不要である)

c. 弾性係数  $E_s = - = \frac{50\text{kN}/2.865\text{cm}^2}{0.4\text{mm}/500\text{mm}} = \frac{17.45}{8.0 \times 10^{-4}} \text{ kN/cm}^2 = 218 \text{ kN/mm}^2$

d. SD345 の降伏強度  $f_y = 345 \text{ N/mm}^2$

D22 の断面積  $A_s = 3.871\text{cm}^2 = 387.1\text{mm}^2$

降伏時の引張荷重 :  $P_y = A_s \times f_y = 387.1 \times 345 = 133.6 \text{ kN}$

降伏時のひずみ : 
$$y = \frac{f_y}{E_s} = \frac{345 \text{ N/mm}^2}{200\text{kN/mm}^2} = 1725 \times 10^{-6}$$

e.

	引張荷重	応力	ひずみ
長さ 100cm	28.7kN	100N/mm <sup>2</sup>	5×10 <sup>-4</sup>
長さ 200cm	14.3kN	50N/mm <sup>2</sup>	2.5×10 <sup>-4</sup>

f. 
$$= \frac{500\text{kN}}{20 \times 20\text{cm}^2} = 1.25\text{kN/cm}^2 = 12.5 \text{ N/mm}^2 \quad (\text{弾性解析であるので, 圧縮強度は必要としない})$$

$$= l = \frac{l}{E_c} = \frac{12.5 \text{ N/mm}^2}{30 \times 10^3 \text{ N/mm}^2} \times 1000\text{mm} = 0.417\text{mm} \quad (\text{縮み量})$$

g. 
$$f'_c = \frac{350}{\times 15^2 / 4\text{cm}^2} = 1.98\text{kN/cm}^2 = 19.8 \text{ N/mm}^2 \quad (\text{高さ } 30 \text{ cm は不要})$$

h.

	圧縮荷重	ひずみ
20cm × 20cm	400kN	5×10 <sup>-4</sup>
40cm × 40cm	1600kN	5×10 <sup>-4</sup>

問題 2 下記の設問に答えよ。

- a. 長さ 50cm と 120cm の異形鉄筋(D16, SD345)があり、各々に引張力を与え、1mm 変位(伸び)させた。このとき、両鉄筋は降伏しているか。また、ひずみと引張荷重を計算せよ。ただし、計算を簡単にするため、D16 の断面積を  $2\text{cm}^2$  とする。

ヒント：この異型鉄筋の降伏ひずみをもとめよ。変位 が同じ場合、どちらの応力が大きくなるか。

- b. 径が D22、長さが 100cm の鉄筋棒(SD345)を引張荷重し、降伏させた。このときの引張荷重、ひずみ、変形量(伸び量)を求めよ。

ヒント：作用応力が降伏点に達したときの状態を考えている。

解答：

- a. この鉄筋の降伏時のひずみ： $\epsilon_y = f_y / E_s = 345 / 200 \times 10^3 = 0.001725$

50cm の場合： $\epsilon = 1 / 500 = 2.0 \times 10^{-3} > \epsilon_y$  降伏している

$$P = f_y A_s = 345 \times 200 = 69\text{kN} \quad (\text{降伏強度を用いる})$$

120cm の場合： $\epsilon = 1 / 1200 = 0.8 \times 10^{-3} < \epsilon_y$  降伏していない

$$P = (E_s \epsilon) A_s = (0.8 \times 10^{-3} \times 200 \times 10^3) \times 200 = 32\text{kN} \quad (\text{実応力を用いる})$$

- b.  $P = f_y A = 345 \times 387.1 = 134\text{kN}$

$$\begin{aligned} &= \frac{f_y}{E} = \frac{345}{2.1 \times 10^5} = 1.6 \times 10^{-3} \\ &= \times 1000 = 1.6\text{mm} \end{aligned}$$